

### 代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

# くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7  
TEL.03(3404)7661  
E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com  
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

# 生活歴の中にヒントが潜む

## 千駄ヶ谷地区・医療介護活動集談会



様々な職場の活動を共有しました

演題	部署
1 失語症であったが、ブログを活用してリハビリに取り組み、ADLの向上を認めたい症例	診療部
2 YESが目指すEAP事業	健診センター
3 生活歴に潜んでいたヒント!! ~認知症の方に寄り添いサービス拒否から導入へ~	居宅介護支援事業所
4 CV挿入患者における輸液無菌調整の成果	薬局
5 健診における低線量胸部CTの検討	放射線科
6 就労準備としての院内ボランティア	精神科デイケア
7 歯周治療患者へのアプローチ	代々木歯科
8 高次脳機能障害患者への食事自力摂取確立を目指して ~ご飯を自分で食べてほしい家族の願いを実現し在宅介護軽減に繋げる事例~	回復期リハビリ病棟
9 歯科衛生士が病棟配属になって ~現状報告と今後の課題~	3階病棟
10 通所リハビリテーションの役割 ~通所リハビリの取り組みとケアマネジャー・他事業所との連携~	通所リハビリテーション
11 回復期病棟退院患者様の自宅での日常生活動作の変化について	リハビリテーション部
12 2012年度代々木病院患者満足度アンケート報告	医事課
13 「お金がない！」と病院にかかれぬ~無料低額診療事業の一年半~	医療相談室
14 たくみ外苑薬局の在宅患者訪問活動の報告と今後の課題	たぐみ外苑薬局
15 急激に躁転し治療に苦慮した2型糖尿病の1例	診療部

**認知症、10年で2倍に増加**  
代々木病院・居宅介護支援事業所の畑中大臣が「生活歴に潜んでいたヒント!!」認知症の方に寄り添いサービス拒否から導入へ」の発表では、ご

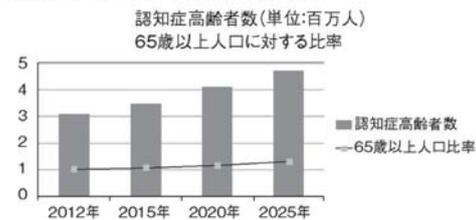
夫婦で認知症の世帯について取り上げていました。認知症は増加傾向にあり10年前と比べると現在約2倍になってきているそうです。  
**介護保険のサービス拒否**  
例に挙げた夫婦は、身

昨年11月21日、千駄ヶ谷地区・医療介護活動集談会が日本共産党本部多目的ホールで開催されました。「過去に学び、時代と向き合い、よりよい未来のあり方を提示する」というテーマを掲げ、様々な職場での医療介護活動の取り組みや報告を交えた集談会が行われました。職員を中心に90人が参加し、各職場から15演題の報告がありました。  
眼科 柏原恵理(視能訓練士)

内に食事を届けてもらいなから何とか生活してまいりました。ただ、夫婦だけでは厳しく、訪問介護などの必要性があつたにもかかわらず、他人に頼りたくないという気持ちが強く介護保険のサービスを

### 認知症高齢者の現状

・2004年12月 痴呆症⇒認知症  
・2002年149万人 2012年305万人



当者らが時間をかけて話し合い、夫婦にとって望ましい環境になるようサービスの利用を提案した

倍以上

「その人にとって」さらに、「認知症になったからといってその人の人生は終わりではなく、幸せに生きる権利がある。しかし、認知症サポート医の充実、地域連携、人々の理解、薬の開発、社会の取り組みなど多くの課題があり、安心

どころ、受け入れてもらえるようになり徐々に生活の改善がみられるようになりました。生活歴の中に対応が変わるヒントが潜んでいる」と畑中大臣は説明していました。

### 「第五福竜丸展示館」で反核運動の原点を知り核の無い未来のために学ぼう!

～マーシャル諸島の人々の被ばくの企画展も開催中～  
＜初めての方でも安心＞  
ボランティアによるわかりやすい解説があります。  
■対象：どなたでも参加できます。  
■日にち：2月23日(土)  
■集合時間・場所(①・②どちらでも可)  
①午後1時30分 代々木病院本館入口  
【もしくは】  
②午後2時30分 新木場駅JR改札前  
■主催：代々木病院、代々木健康友の会、勤医会千駄ヶ谷地域原水禁世界大会実行委員会  
■担当：代々木病院 組織広報室 石井  
電話03(5411)9502

ということや財政負担の問題をあげているが、最低賃金も年金等の社会保障もその水準が低すぎることに注目してほしい。生活保護基準は消費実態等をもとに算出される「最低生活ライン」であるので、それを度外視して引き下げを行うということは、日本の「生存権保障水準」が守られないということになり、生活保護以外の制度利用にも大きな影響が出る。「自助」ばかりを強調せず、「共助・公助」を整備することを前提としてほしい。

職員からは、歯科衛生士が病棟で活躍していることや各職場の日常の取り組みを知る機会となり、現状や課題について知ることができたという感想が多数寄せられました。「地域で必要とされる病院」を目指している代々木病院の将来の方向性について参考になったようです。

して暮らせる社会にはまだ時間がかかる。そのような問題があるなかで、感情の共有、拒否せず受け入れ、不安感を和らげ、その人にとって寄り添い、そこからその人らしさを見つかることを強調し、新しい絆をつくり支えていく重要性を説明しました。

**千駄の萱**  
「日本を取り戻す」そんなフレーズで安倍政権が誕生した。▼新聞社の世論調査によると、国民は第一に「景気対策」次いで「社会保障改革」「財政再建」「震災復興」を期待しているそう。▼新厚労大臣は、生活保護費の「生活扶助」について、「1割カットが公約。個々の家庭でみれば1割ぐらいが最大上限ではないか」と生活保護基準引き下げについて見方を示したとのことである。▼昨年芸能人の家族が生活保護を受給しているのは不正受給であるとの大々的に報じられた。生活保護費が最低賃金や年金よりも高い場合があるということや財政負担の問題をあげているが、最低賃金も年金等の社会保障もその水準が低すぎることに注目してほしい。生活保護基準は消費実態等をもとに算出される「最低生活ライン」であるので、それを度外視して引き下げを行うということは、日本の「生存権保障水準」が守られないということになり、生活保護以外の制度利用にも大きな影響が出る。「自助」ばかりを強調せず、「共助・公助」を整備することを前提としてほしい。